

報道関係各位
Press Release



2024年7月6日
コグニティ株式会社

【速報】都知事選2024、各候補の主張をAIで検定・採点

2016・2020年の得票数をもとに、2024年候補の政見放送を採点した結果、
高得票数傾向を持つ政見放送1位は石丸伸二氏、小池氏は前回比較で主張が発散

商談や指導力などコミュニケーションのAI検定を行うコグニティ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：河野 理愛 以下 コグニティ）は、2016・2020・2024年の都知事選候補者の政見放送をAIによって検定し、調査結果「AIトーク検定で捉える 都知事選2024」を発表しました。

本調査では、過去3回の都知事選候補者 全86名の政見放送をAIで検定し、得票数の高い候補者の傾向や、今年の候補者の特徴を解説したものです。



【調査結果の抜粋】

■各候補者の主な主張をランキング形式で抽出

今回48名分の政見放送を検定し、話された主張のうち根拠などが付随し説明量が多く、しっかりと主張された話題をランキング形式で抽出。

【検定手法】特許技術CogStructure を使って、話された内容を定量化し、主張を抽出。各種長に対する説明情報を、論理性のあるものと繰り返し・具体化された情報に分類。過去蓄積された60,000件のトークデータから導き出された「人が理解・納得しやすい主張構成」から逆算して、対象となる主張を点数化し、そのランキング順に主張を提示したものの。

<高得票政見放送との類似度1位は、石丸伸二氏>

過去の高得票者の政見放送と比較して、今年の政見放送で一番近い特徴を持っていたのは、石丸伸二氏。ただし、特徴乖離として11%の開きがある。2020年の山本太郎氏のトーク特徴は、2020年の小池ゆり子氏と乖離度7%。

<小池氏、昨年とは異なる傾向>

小池ゆり子氏の今年のトーク特徴は、最大得票数であった前回と大きく異なり、全体特徴に3割の差があった。特に主な話題の数が1つから2つに増加し、主張の分散が見られる。

得票率の高い政治スピーチは、主張の数が少ない（絞り込まれている）ことが特徴であることを考えると、今年の主張は「弱い」と検定されている。

<二宮氏、AIメイヤー氏、草尾氏、三輪氏の弱い主張>

二宮氏、AIメイヤー氏、草尾氏、三輪氏の4名は、過去最低得票数であった2020年の押越氏よりも、得票特性が低いという結果であった。四氏の共通点は、1つの政見放送中に盛り込む主張が話量中の4割を越えるほど多く、各主張に対する深掘りが少ないことであった。なお、今回一番主張の割合が少ないのは田母神氏の9%。

【AIトーク検定で捉える 都知事選2024 調査概要】

- 調査対象 : これまで3回分の都知事選挙政見放送計86トーク
(2024年: 48トーク、2020年: 19トーク、2016年、19トーク)
- 調査方法 : 特許技術CogStructureを使った「COG-PRESEN」「COG-VIEW」検定
- 調査機関 : コグニティ株式会社
- 掲載サイト : <https://cognitee.com/tokyoelect2024>
- 本調査の掲載・グラフ等の加工利用については、下記の出典情報を記載してください。
コグニティ (2024) 「AIトーク検定で捉える 都知事選2024」
可能であれば、<https://cognitee.com/surveydl> へご連絡ください。

【AIトーク検定の演説分析の今後】

AIトーク検定を使った政治家の演説分析については、2022年の参議院選挙以来、2回目の発表となります。

2022年参院選・政党主張分析サイト : <https://cognitee.com/2022vote>

今回の都知事選挙については、掲載サイト (<https://cognitee.com/tokyoelect2024>)にて選挙当日以降も更新し、8月1日の新規知事就任日を目処に、得票数の結果を使った追加調査結果を掲載予定です。

今後も、投票を通したひとりひとりの政治参加を後押しするために、「バイアスのない」情報提供として各候補者の主張を分析し、調査結果を公表してまいります。

※「技術の力で、思考バイアスなき社会を。」はコグニティのミッションであり、ビジネスシーンや女性活躍・地方創生を目指すにあたっての「バイアスのない」判断を促すためのツール・サービスを提供しています。

【今回の調査に使用したAIトーク検定「COG-PRESEN」「COG-VIEW」について】

今回の調査で利用したAIトーク検定は、個別の政見放送特徴を検出した「COG-PRESEN」、過去数年間の総合検定をし、傾向と採点化を可能とした「COG-VIEW」の2種類として

一般企業へサービス展開しています。トークスキルなど「質」を数値化する国内外唯一の技術（特許取得済）によって、過去6万人のトークと比較しつつ、組織・チームのスキル水準を把握することが可能となります。

上記2サービス以外にも「COG-SERIES（コグ・シリーズ）」では、「COG-SALES」「COG-COACH」「COG-ESSAY」「COG-MR」と、人の思考とコミュニケーションに関する検定サービスを展開しており、企業やマネージャーが抱える組織課題の解決に役立てていただいております。いずれのサービスも、特別な機材やシステムの導入が必要なく、即日・安価に導入頂くことが可能です。

人間の思考・ コミュニケーションの 質を定量化するAI検定 コグ・シリーズ



【コグニティ株式会社 会社概要】

- 設立 : 2013年3月28日
- 所在地 : 〒140-0015 東京都品川区西大井一丁目1番2-208号
- Web : <https://cognitee.com/>
- 資本金 : 338,324千円（資本準備金含）
- 従業員 : 109名
- 代表者 : 代表取締役 河野 理愛
- 事業内容 : 「認知バイアスを取り除く」ためのソフトウェアを開発。60,000件を超える検定結果データベースを使って、接客・プレゼン・会議等の好成績者・チームの傾向をモデル化し、定量的に比較評価する解析サービス「コグ・シリーズ」を提供
- ◇ 第22回テレワーク推進賞 優秀賞受賞
- ◇ リモートワーカーを含め、ISMS認証（ISO27001）を2019年6月に取得
- ◇ 「トークや文書の文脈・構成について差分計算し、抜け漏れ・過不足を予測/推薦する技術」について、2015年に出願、2019年8月に特許取得（特許第6573321号）
- ◇ 2013年創業時より「完全在宅勤務制」を採用し、運用に成功している企業として多くのメディアに取り上げられる

本件に関するお問合せ
コグニティ株式会社 広報担当
Email: pr@cognitee.com TEL: 03-4212-8445